

国語(現代文・古文・漢文) 広島大学 文・教育学部 前期日程 1/3

<総括>

出題数 現代文1題 ・ 古文1題 ・ 漢文1題 試験時間 120 分

本文量が大幅減であり、文体が読みやすく、論旨は明快だった。設問意図がわかりやすい。

<本文分析>

大問番号	第一問 現代文
出典 (作者)	『「覚える」と「わかる」 知の仕組みとその可能性』(信原幸弘)
頻出度合 ・的中等	なし
分量 前年比較	分量 減少 ・やや減少・変化なし・やや増加・増加 約 2190 字 (2023 年 約 3900 字)
難易 前年比較	難易 (易化・ やや易化 ・変化なし・やや難化・難化)

<大問分析>

大問	ジャンル	設問	設問形式	難易度	コメント(設問内容・答案作成上のポイントなど)
一	評論	問一	記述	標準	漢字書き取り。従来通り5問。 「そんなこと」という指示内容を書く問題。 「条件を明確にして」という条件に従うこと。
		問二	論述	やや易	
		問三	論述	標準	
		問四	論述	標準	
		1	抜き出し	易	「前提」を「一文」で抜き出す問題。 「理由」とともに傍線部を説明する問題。 「イエス」と答える可能性の理由を書く問題。 「変容の順序に沿って」に従い説明する問題。 「本文の前半部分」から抜き出す問題。 「指揮者」を例にし、「刺激」という語句を用いて説明する問題。
		2	論述	やや易	
		問五	論述	標準	
		問六	論述	標準	
問七	抜き出し	やや易			
問八	論述	標準			

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

- ・いろいろなタイプの評論を読んでおこう。
- ・漢字は必ず出るので日頃から勉強しておくこと。
- ・日頃から文脈を踏まえて文章をまとめる論述練習をしておくこと。
- ・抜き出しの対策も行っておくこと。
- ・100字程度の論述の練習をしておくこと。

国語 (現代文・古文・漢文) 広島大学 文・教育学部 前期日程 2/3

<総括> 出題数 現代文1題 ・ 古文1題 ・ 漢文1題 試験時間 120 分

短語句の現代語訳、文学史が出題されていなかった。
和歌の現代語訳が出題された。
字数制限のある説明問題の字数が減少した。

<本文分析>

大問番号	第二問 古文
出典 (作者)	『義経記』
頻出度合 ・的中等	なし
分量 前年比較	分量 (減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加) 1290字 (2023年 1561字)
難易 前年比較	難易 (易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化)

<大問分析>

大問	ジャンル	設問	設問形式	難易度	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)
二	古文	問一	記述	易	文法 (四箇所)
		問二	記述	標準	現代語訳 (五箇所)
		問三	記述	やや易	指示語の具体化 (10字)
		問四	記述	やや難	理由説明 (25字)
		問五	記述	やや難	抜き出し (2字)
		問六	記述	やや難	内容説明
		問七	記述	やや難	理由説明 (30字)
		問八	記述	標準	和歌の現代語訳

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

基本的な文法力、単語力を身につけて、正確な読解力を養い、字数制限のある記述問題に対応できる力をつけておこう。
さまざまなジャンルの作品に対応できるようにしよう。
和歌の対策も必要である。

国語(現代文・古文・漢文) 広島大学 文・教育学部 前期日程 3/3

<総括>

出題数 現代文1題 ・ 古文1題 ・ 漢文1題 試験時間 120 分

頻出出典『貞観政要』「政体」第二の第七章から出題された。
2023年には出題されなかった単語の読みの設問が復活した。

<本文分析>

大問番号	第三問 漢文
出典 (作者)	『貞観政要』(唐・呉兢)
頻出度合 ・的中等	なし
分量 前年比較	分量(減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加) 209字(2023年223字)
難易 前年比較	難易(易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化)

<大問分析>

大問	ジャンル	設問	設問形式	難易度	コメント(設問内容・答案作成上のポイントなど)
三	漢文	問一	記述	易	単語の読み。「故」「対」「自」。 「蔽其□」に入る語を選ぶ。 書き下し文。再読文字「猶」がポイント。 日本語訳。部分否定の訳がポイント。 抜き出し。「具体的に天子のどのような態度のことをいうか」に相当する四字を抜き出す。 「誰が誰をなぜ恐れなければいけないのか」を説明する。 抜き出し。「具体的にどのような状況のことをいうか」に相当する四字を抜き出す。 内容説明。「両者の違い」がどこに書かれているのかに気づき、要点を余さずまとめる。
		問二	客観	易	
		問三	記述	標準	
		問四	記述	標準	
		問五	記述	標準	
		問六	記述	標準	
		問七	記述	標準	
		問八	記述	やや難	

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

- ・重要単語や基本句形をマスターすること。
- ・漢詩を含めて、さまざまなジャンルの漢文に慣れ親しんでおくこと。
- ・内容説明、理由説明、心情説明など記述対策を十分に積むこと。
- ・書き下し文にしたり、訓点を付けたりする演習を積むこと。